

平成17年度

宮崎県産学公交流会

時代の変化を先取りし、長期的な視野での戦略、経営基盤の強化を図るため ― 是非ご参加下さい。

と き 2005年6月9日(木) 14:00~19:30

14:00~14:15 第3回宮崎県工業会賞表彰式
14:30~16:55 <第一部> 事例発表
17:00~18:10 <第二部> 基調講演
18:20~19:30 <第三部> 産学公交流パーティ

ところ 宮崎観光ホテル 宮崎市松山1-1-1

◇表彰式、事例発表、基調講演・・東館3F「碧耀」
◇産学公交流パーティ・・東館3F「緋耀」

■第3回宮崎県工業会賞 表彰式(14:00~14:15)

開会挨拶・・宮崎県知事 安藤忠恕氏

<第一部> ■モノづくり最前線からの報告⑦(14:30~16:55)

「シーズとニーズのマッチング」事例発表

コーディネーター:宮崎大学地域共同研究センター センター長 黒澤宏氏

- ①「多孔膜によるはんだ微粒子製造技術の開発」
宮崎県工業技術センター、(株)千住マイクロ技術研究所
- ②「体圧分布計測システムを活用した健康シューズの開発」
宮崎県工業技術センター、(有)よしたにクロージング
- ③「ラッキョウ自動切断装置の開発」
都城工業高等専門学校、えびの電子工業(株)
- ④「下水管内面形状計測システムの開発」
宮崎大学工学部、(株)中野管理
- ⑤「みやざき産業クラスターの形成」
みやざき産業クラスター推進協議会
- ⑥「宮崎県における産学公連携の大型プロジェクトへの取組」
(財)宮崎県産業支援財団
- ⑦他産業との連携 - 農工連携を… 宮崎県農業会議
「宮崎県農業法人経営者協会の活動内容について」

<第三部> ■産学公交流パーティ(18:20~19:30) 東館3F「緋耀」 参加費:5,000円/1人

<第二部> 講演

17:00
?
18:10

講師 前田 泰宏氏

経済産業省 製造産業局
モノづくり政策審議室長

「ものづくりを世界的なキーワードで」



前田 泰宏氏

1988年 東京大学法学部 卒業
1988年 通商産業省(現:経済産業省)入省
第一次電力自由化(1992~1995)
省庁再編を中心とする行政改革(1996~1998)
第二次電力自由化(1998~1999年)
IT革命(1999~2000)
大臣官房にて政策管理・政策評価、及び
電子政府プロジェクト(2002~2004)
などの担当を経て
1995年 米国ジョージ・ワシントン大学
MIPP(国際公共政策学士)取得
2005年1月より現職。

<第1部> 事例発表 モノづくり最前線からの報告⑦

「シーズとニーズのマッチング」

| | |
|--|--|
| <p>「多孔膜によるはんだ微粒子製造技術の開発」 宮崎県工業技術センター （株）千住マイクロ技術研究所</p> <p>電子部品の小型化に伴い、これらははんだ付けに使用されるソルダーペースト用はんだ粒子の微粒化が先端企業を中心に強く要求されるようになってきた。そこで、工業技術センターが開発した多孔膜による金属微粒子製造法を応用し、従来にない画期的なはんだ微粒子製造技術を共同開発。</p> | <p>「体圧分布計測システムを活用した健康シューズの開発」 宮崎県工業技術センター （有）よしたにクロージング</p> <p>介護シューズ及び健康シューズを商品化する上で、履き心地に関する消費者ニーズは重要な課題となっている。そこで、足圧分布を履き心地評価の一基準として考え、データの蓄積と分析を行い、歩きやすさに配慮した健康シューズ「リアル」を開発。</p> |
| <p>「ラッキョウ自動切断装置の開発」 都城工業高等専門学校 えびの電子工業(株)</p> <p>ラッキョウの加工は、ラッキョウの全体形状から茎と根を切断する作業があり、その品質は個人の熟練度に依存する。また、切断作業者の高齢化もあり、今後生産量の低下は避けられない現状をふまえ、同校と地元企業によるプロジェクトを編成し、自動切断装置を開発。</p> | <p>「下水道内面形状計測システムの開発」 宮崎大学工学部 （株）中野管理</p> <p>国内で32万kmほど張り巡らされている下水管の8割は直径45cm以下の管であり、その劣化状況を判断する方法はCCDカメラ搭載走行車による管内壁撮影画像の視覚判断によるため個人差が生じる。そこで、管内の画像を解析、数値データ化し、管の劣化状況を判断できるシステムを開発。</p> |
| <p>「みやざき産業クラスターの形成」 みやざき産業クラスター推進協議会</p> <p>協議会内に設けているバイオ部会・IT部会の各企画運営委員会において、協議会として取り組むべき開発課題（焼酎粕・煮汁・魚腸骨の再利用、農産物のトレーサビリティの確立、映像によるコミュニケーションの円滑化）を選定し、産学公で構成するグループ（ミニクラスター）活動により、研究開発を実施している。</p> | <p>「宮崎県における産学公連携の大型プロジェクトの取組」 （財）宮崎県産業支援財団</p> <p>産学公連携の大型プロジェクトが県内3ヶ所で展開されている。すなわち、地域結集型共同研究事業の「食の機能を中心としたがん予防基盤技術創出」、都市エリア産学官連携促進事業の都城盆地エリア「バイオマスの高度徹底活用による環境調和型産業の創出」、及びみやざき県北臨海エリア「高齢者QOLの向上に貢献する海洋性バイオマス活用技術の創出」である。これらの研究開発を通じて新技術・新産業を創出し、バイオクラスター形成をめざす。</p> |
| <p>◇他産業との連携 - 農工連携を… 「宮崎県農業法人経営者協会の活動内容について」 宮崎県農業会議</p> <p>近年の農業・農村を取り巻く環境は、高齢化・兼業化・少子化による担い手不足が進むなか、農業法人数は全国で増加しており、今後農業分野だけでなく、他産業との連携が注目されつつある。本県においては、平成7年に県農業法人経営者協会が設立され独自の活動を展開しており、その組織と活動内容等について紹介を行う。</p> | |

宮崎県産学公交流会 申込書

宛先 FAX 0985-74-4710

社名・団体名

*事務手続きの都合上、恐縮ですが、出(○)欠(×)にて5月31日までにご返信下さい。

| 氏名 | 役職 | 事例発表 | 基調講演 | 交流パーティ |
|----|----|------|------|--------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

*記入枠がたりない場合には、コピーしてご利用下さい